

ネックエアバッグ・システム内蔵レーシングスーツ

近年、バイク用エアバッグ・システムの注目度が高まっています。その理由のひとつが< MotoGP >での着用が義務付けられるという報道です。またエアバッグ・システムを装着していれば走行料金やエントリーフリーの割引きを受けられるサークルも増えてきました。エアバッグ・システムはライダーを守る装備として確実に浸透してきています。しかし普及をさまたげる要因もあります。そのひとつが価格です。通常の革ツナギに複雑なエアバッグ・システムを内蔵するのですから、それなりに高価になってしまいます。また比較的の安価なベストタイプの場合、革ツナギの上から着用するため「スタイルischuに欠ける」という声も。そのような理由から導入に踏み切れない人も多いように感じます。

「有効な安全装備ができるだけ低コストでユーザーに提供したい」と考えているプライドワンは、従来から他社よりもリーズナブルな価格でフルオーダーのネックエアバッグ・システム内蔵レーシングスーツを販売していました。ここでさらに手頃な価格でユーザーの手元に届けるべく、既製サイズのネックエアバッグ・システム内蔵レーシングスーツ< PRR-175 >を開発。業界初となるいわゆる“吊し”のネックエアバッグ内蔵レーシングスーツのリリースです。

Hit Air製ネックエアバッグ・システムの特徴

シンプルな作動原理を採用

バイクとライダーが離れる事によってユニット内のピン(Kyeボール)が抜けボンベが作動。0.27秒でエアバッグが作動します。また作動後、エアバッグ本体に破れなどの大きなダメージがなければ折りたたんで収納し、新しいガスボンベをセットすることで再利用が可能です。

首周りへの衝撃を緩和しダメージを軽減

頭部が障害物にぶつかった場合、ヘルメットが衝撃を分散し中へ伝わる力を緩和しますが、衝撃は首にも伝わるので場合によっては深刻なダメージを与えることもあります。首元のエアバッグはヘルメットごと頭部を支え、首が大きく動くことを抑制。首の重要な器官や鎖骨を最大限守ります。

頭部・ヘルメットへのダメージを抑える

首周りのエアバッグが緩衝材となり、頭部が直接路面に叩きつけられることを抑制。脳しんとうなどを起こしにくくなるので、転倒場所からすぐに移動し二次被害を回避したり、以降のレースに出場することも可能です。また高価なヘルメットが傷つくことを防ぐ効果もあります。



◆全日本選手権J-GP2クラスでの衝撃映像。ハイサイドで放り出されたライダーのネックエアバッグは空中で作動し、首周りを保護。高速で頭部から落下したにも関わらず、自力でコース外に避難することができました。

Photo by Shigeto Kawakami



hit-air
SHOCK BUFFERING SYSTEM

Hit Airは、着用するエアバッグ・システムにおいて世界シェア<No.1>を誇るメーカーです。

プライドワンの歴史

- ◇1987 「FTS」としてOEM生産をメインにレーシングスーツ供給を開始。
- ◇1988 プライベートブランド『プライドワン』立ち上げ、OEMにて全日本ライダーレーシングスーツ供給を始める。
- ◇1990 スポーツメーカー「ミズノ」からの依頼を受けミズノレーシングスーツを開発。
- ◇1992 レーシングスーツブランド「FORZA」と技術提携。
- ◇1993 WGP参戦の原田哲也選手を筆頭にFORZA契約ライダーに供給、積極的に開発を進める。同時に韓国工場の生産管理も担当。この年から「肩を滑らせる」という発想の元にショルダースライダーの前身、リベットパッドの開発に着手。
- ◇1994 リベットパッド標準装備のレーシングスーツが多く支持を受けヒット商品に。
- ◇1994~1998 HONDA/YAMAHA/SUZUKIメーカー系ライダーをはじめとする全日本トップライダーやWGP選手にレーシングスーツを供給。
- ◇2000~2001 イタリア「SPIDI」のアドバイザー及び全日本契約ライダーサポートを手がける。
- ◇2002~2007 FORZA再スタートのための企画に関わり、デザイン・企画・生産管理等全般を担当。
- ◇2007 Hit Air(無限電光)からネックエアバッグ・システム供給契約を結び、ネックエアバッグを内蔵したレーシングスーツの開発に着手。
- ◇2008~2009 FORZAの廃業に伴いプライベートブランド「プライドワン」を主軸にシフト。『海外工場で90%生産・日本仕上げ』の生産体制を整備、これまでのOEM生産等で得たノウハウを活かし新たな取り組みを開始。
- ◇2010 新生PRIDE1 スタート: PRR-105(ロード)/PRM-103(モータード専用)のレーシングスーツをリリース。全モデルにショルダー、エルボースライダー標準装備。
- ◇2011 ツーリング仕様のネックエアバッグスーツPRA-116-Kid'sスーツPRK-117をリリース。
- ◇2012 ネックエアバッグ内蔵レーシングスーツとしては業界初となる全日本選手権ライダーに供給。ハードチエストガード標準装備に。
- ◇2015 JSB藤田拓哉選手(YAMALUBEヤマハ)にレーシングスーツ供給。

ネックエアバッグ内蔵レーシングスーツ生産歴10年以上 Hit Air製ネックエアバッグ・システムのシェアNo.1!



過去の主要なレーシングスーツ供給ライダー

ピーター・ゴダード選手(1991 GP500全日本チャンピオン)
原田哲也選手(1993 WGPチャンピオン)
宮坂賢選手(1994 GP125全日本チャンピオン) 本間利彦選手(GP500)
岩橋 健一郎選手(GP500) 鶴田竜二選手(GP500)
大崎誠之選手(GP-125 GP-250 JSB) 芳賀健輔選手(GP250)
堀 良選手(GP250) 鈴木 淳選手(GP250) 小倉直人選手(GP250)
青木 治選手(WGP250) 德留真紀選手(WGP250) 清水隆男選手(WGP125)
仲城英幸選手(WGP125) 匝田禎智選手(WGP250) 宮崎 敦選手(WGP250)
岩城晃一(HD) 生見友希雄選手(JSB) 松本康選手(MOTO1 Pro)
黒田高輝選手(MOTO1 Pro) トニーシュルツ選手(MOTO1 Pro)

PRR-175

Neck air bag Racing suit

<ネックエアバッグ・システム>内臓の
ベーシック・レーシングスーツ登場!



MFJ2017公認



keprotec®

schoeller®
Switzerland



レーシングフィールドからダイレクトフィードバック!!

プライドワンは、Hit Air製ネックエアバッグ・システムを装備したレーシングスーツを全日本選手権に供給し、開発を続けている唯一のメーカーです。



PRIDE-ONE
<http://pride1.jp>

Tel: 047-1432 千葉県白井市富士57-11
TEL: 047-445-8366 / 090-3335-6222 FAX: 047-401-0049

